

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第5号
しののめ

東雲

令和4年9月27日発行

4つの実践

- 〇朝ごはんをしっかり食べる。
- 〇明ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 〇「ありがとう」「ごめんさい」と言う。
- 〇友だちをたくさんつくる。

3 減 運 動

減 減 減

テレビの時間を減らします。 ゲームの時間を減らします。 スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使いの方向性

SDG11

① 安全に使う。② 必要最低限の時間だけ使う。③ 必要なアプリだけを入れる。④ 通知は必要なものだけにする。⑤ 充電がなくなったときは、充電器を使う。⑥ 充電器は、充電が完了したら抜く。⑦ 充電器は、充電が完了したら抜く。⑧ 充電器は、充電が完了したら抜く。

「ひらめき」と「アウトプット」を習慣化しよう

～全国学力・学習状況調査の結果分析の一部から見えること～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

文部科学省は 7 月下旬に、全国の小6・中3生を対象に実施(4月)した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。今年度は、通常の国語、数学に理科が加わり3教科を受験しました。

右の問題は、数学の大問4です。一次関数の変化の割合の意味を理解し、正解を導くことができるかを試す問題です。正しく解答するためには、①変化の割合の意味を理解していること ②グラフなど事象から特徴を的確にとらえること の2点を押さえていなければなりません。「変化の割合とは、xの増加量が1の時のyの増加量であるという正しい知識の理解と、 $\frac{yの割合}{xの割合}$ で求められることを知識・技能として身に付けているでしょうか。全国的な中3生の正答率は 38.9%で、H.29 年度実施の同じテストティングポイントの問題と比較して17.7%下降してしまいました。本校3年生の正答率もほぼ同じで38.5%でした。復習が必要です。

4) 下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-11	-7	-3	1	5	9	13	...

イ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

ウ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

エ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-7	-4	-1	2	5	8	11	...

「水素を燃料として使うしくみの例」で電気分解と燃焼を繰り返すとき、図の③の質量は、どのようになると考えられますか。

③の質量は X と考えられます。

「水素を燃料として使うしくみの例」では、水素がずっと使えます。

この「水素を燃料として使うしくみの例」では、水を電気分解して発生させた水素を使い続けるために、おおもとして Y が必要です。

(3) Y に当てはまる最も適切な言葉は「水素を燃料として使うしくみの例」の図の中から1つ選び、書きなさい。

理科の問題も見てみましょう。化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかを試す問題です。正答は「太陽の光」なのですが、「酸素」「水素」などと解答した中3生が多く、全国的な正答率は24.9%でした。「エネルギー」の領域に関する知識を活用することができず、仕組み全体を働かせるおおもとして電気分解または燃焼に関する物質ではないかと誤って判断している生徒が非常に多いことが分かりました。本校3年生の正答率は20.3%でした。※問題の解説・分析については、<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/>を参照

学習指導要領では「課題解決型」「対話型」の授業スタイルへの移行を学校に求めています。課題に対して、まず生徒一人ひとりが思考し、それを基にグループや学級の友達と話し合いや討論を行います。対話型の授業では、講義型の授業に比べて、自分の意見や考えを説明する機会が圧倒的に多くなります。そして異質な意見の相互発見、討論による多面的意見が生まれてきます。一人ひとりの「ひらめき」、それに基づく説明という形の「アウトプット」を行う習慣づけをできる限り多くの授業で設定していくことが本校でも急務であると考えています。本校でも、この視点からの授業改善に後期は積極的に取り組んでまいります。





熊谷東中歳時記(8,9月)

東

全校登校日、全校集会、平和学習【8月22日(月)】



夏休み中の登校日、久しぶりに仲間や先生と再会しました。

各教室で、オンラインによる「全校集会」、その後「平和学習」を実施しました。平和祈念展示資料館の加藤さんの司会のもと、語り部の手塚さんから貴重なお話をいただきました。戦争についてじっくり考えられる1時間の授業となりました。

避難訓練【8月30日(火)】



9月1日の防災の日を前に、地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。

今回は、消防本部の方にも来校いただき、はしご車による救出や校舎への放水の様子も実際に見る事ができました。

いつ起きるかわからない震災ですから、訓練も重要な意味をもちます。

これからも、自分の身は自分で守る行動（特に登校、下校の自転車の乗り方が課題です。）をとり、一步一步成長してください。

第62回体育祭【9月10日(土)】



朝6時の段階では、前日の大雨により校庭にたくさんの水たまりができていました。係の生徒、先生方で協力したグラウンド整備の結果、30分遅れで計画どおり実施することができました。

令和4年度の体育祭スローガンは、「～We are winners～諦めたらそこで試合終了ですよ！」でした。どの種目も、真剣なまなざしで自分のもつ力を発揮している姿に東中の職員は感動しました。学校全体で高めたこの団結力をこれからの学校生活に生かしていけるとよいですね。